

## 平成28年度第1回市民活動団体支援制度審査会

開催日時 平成28年4月11日(月) 午前10時30分から

開催場所 市役所 会議室

出席者

(委員) 中川委員、北浦委員、宮西委員、谷野委員、森委員、平井委員

(事務局) 奥谷市民活動推進課長、西野市民活動推進センター所長、西田市民活動推進センター係員

【事務局】 失礼いたします。皆さん、おはようございます。今年度の4月1日付をもちまして市民課の方から異動してまいりました、市民活動推進課の奥谷でございます。どうぞよろしくお願いいたします。4月1日付で委員2人がかわられましたので、ご紹介申し上げます。4月1日付、奈良県の人事異動に伴いまして、新たに奈良県くらし創造部青少年社会活動推進課長に就任されました森委員でございます。

【森委員】 森です。よろしくお願いいたします。

【事務局】 どうぞよろしくお願いいたします。同じく、4月1日付、地域活力創生部長の平井委員でございます。

【平井委員】 平井です。よろしくお願いいたします。

### 案件1、補助金交付確定にかかる事業報告書審査

【事務局】 それでは、早速ではございますが、案件1、補助金交付確定に係る事業報告書審査会に移らせていただきます。一覧表の後に、団体番号を付けた16団体分の実績報告書をつけております。ふせんがついている書類は、事務局が申請書類と実績報告書をもとに作成した資料です。

#### 団体番号1. 健やか交流塾おもちゃ病院 生駒病院

#### 支援対象事業 「おもちゃ病院の開院」

この事業では、壊れたおもちゃを修理する「おもちゃの病院」を開院する事業で、おも

ちやドクターを中心に、毎月1回の定期開院のほか、臨時開院として鹿の台自治会館で3回、南コミュニティセンターで1回を行い、合計16回実施されております。

収支について説明いたします。旅費が当時4名だったドクターが11名に増えたことと、臨時開院の回数が4回あったことで旅費が4万3,660円増額しております。また、申請時には計上されていなかった使用料が追加されているものについては、臨時開院で使用した自治会館の使用料となっております。

結果、総事業費は当初予算額より5万3,200円増額の18万1,032円となり、支援金額は交付決定額どおり6万円となっております。

## 団体番号2 市民公益活動団体「ほたる」

### 支援対象事業 ホタルの飛ぶ環境と憩いの場の創造

この団体は生駒市を住みよいまちにするために、夏になると竜田川や富雄川の支流に多数のホタルが飛び交う水辺をつくり、市民に憩いの場を提供することを目指してホタルの幼虫を飼育し、環境保全の啓発活動を行っておられます。

支出内容の説明をいたします。消耗品費として申請時に3万5,000円計上していましたが、実際の支出は2万9,053円少なくなっております。これは水質検査試薬を新たに購入しなかったためです。

結果、総事業費は予算額より3万7,316円減額の6万4,584円、うち支援対象経費6万700円、支援金額は交付決定額より1万8,350円減額の3万350円となっております。

## 団体番号3 特定非営利活動法人 いこま国際交流協会

### 支援対象事業 国際交流ひろば「ハロハロ☆デティクラブ」

子どもプログラムとして、外国人市民スタッフと一緒に、外国のお話や紙芝居、工作、楽器やダンスなどの体験学習を7回、俵口町自治会館で実施されています。保護者プログラムとしては、子どもプログラムの終了後30分悩みの相談などを行われました。また、7月には高校進学説明・教育相談会を実施したり、子育ての情報交換や母国語による外国人市民の子育てを行う「サマースクール」を実施したりしております。

予算時は事業収入として2万8,000円の計上がありましたが、決算時は400円減額の2万7,600円となっております。次に支出ですが、希望額に対して決定額が少なかったことにともない、賃金、旅費、印刷製本費を減額もしくは支出をなくしております。

結果、総事業費は予算額より3万6,105円減額の22万5,495円、支援対象経費も同額で、支援金額は交付決定額と同額の10万8,754円となっております。

#### **団体番号5 特定非営利活動法人 子守（こまもり）**

##### **支援対象事業 少年サッカー大会「子守（こまもり）杯」運営事業**

2月11日に生駒市総合スポーツ施設で総勢75名が参加したサッカー大会を開催いたしました。

収支について説明いたします。支援金額が希望額よりも少なくなったことにもない、支援対象経費として計上していた食糧費2万円については使われませんでした。また保険料についてですが、今回参加をされたチームが5チームあり、それぞれが保険に加入していたので、予算計上しておりました保険料1万8,000円は使用しておりません。委託料についても1万5,000円少なく委託することができております。

結果、総事業費は予算額より6万5,893円減額の12万4,107円、うち支援対象経費8万5,188円、支援金額は交付決定額4万4,709円から4,450円少ない4万2,599円となっております。

#### **団体番号6 生駒市スカウト連絡協議会**

##### **支援対象事業 ふれあいひろば（スカウトとあそぼう！）**

一般参加者とスカウトが一緒になって10月から2月にかけて「スカウトフェスティバル」「宝さがしと焼き芋」「餅つき大会」「とんど」「新春の集い」「報告会議」を実施されました。

支出内容について説明をいたします。通信運搬費ですが、事業周知のチラシを発送するために通信運搬費として計上していた2,000円について、団体構成員が各施設へ持参したために支出はありませんでした。

また、印刷製本費として2万円を想定していましたが、印刷物のサイズを小さくしたり枚数を減らすなどして支出額をおさえたり、参加者が予想を上回ったことにもなる原材料費の支出額が増額した結果、総事業費は予算額より2,595円高い16万2,595円、うち支援対象経費は16万1,800円となり、支援金額は交付決定額と同額の8万円となっております。

#### **団体番号8 グリーンボランティア「いこま宝の里」**

##### **支援対象事業 “森と遊ぼう” 里山体験**

2月6日にイモ山公園で地域の子どもたちとその保護者149人の参加があり、子ども

里山体験を実施されました。今回は普段活動をしている地域以外にも積極的に周知を行っております。

収支について説明いたします。まず収入ですが、予算時は事業収入として3万円の計上がありましたが、決算時も同額の収入となっています。次に支出についてですが、豚汁を作る際のガスの委託料を申請時に見込みを立てていなかったこともあって2万552円追加になっております。

結果、総事業費は予算額より1万8,263円増額の13万4,263円、うち支援対象経費も同額、支援金額は交付決定額と同額の5万8,000円となっています。

#### **団体番号11 夢の会**

##### **支援対象事業 見てさわって楽しんで 笑顔がいっぱいぬくもり布えほん・布おもちゃ工房**

市内の図書室や保育園、子育て支援センターに団体で製作した布製のえほんやおもちゃを寄付するという事業で、実績として布えほんを8冊とエプロンシアターの布おもちゃを5着寄付しました。

収支について説明いたします。支出の消耗品費が予算計上時よりも3万788円減額しております。これは、当初目標としていた寄付数よりも実績が少なくなり、活動にかかる消耗品の購入も減ったためです。

結果、3万6,063円減額の4万565円、うち対象経費も同額、支援金額は交付決定額の3万8,314円から1万8,032円減額の2万282円となっています。

#### **団体番号16 特定非営利活動法人 いこま山の子会**

##### **支援対象事業 研究発表会「子どもにとっての成功とは？」**

事業期間中にワークショップを行って参加者らが子どもを取り巻く環境を振り返り、それらのワークショップをふまえて、2月6日に南コミュニティセンター小ホールにて80人が参加した研究発表会を実施しました。

収支について説明いたします。収入についてですが、当初予定をしていなかった事業日の託児収入が3,500円ございます。続いて支出ですが、当初予算計上をしていなかった保険料が644円ございます。これは、託児をおこなったことにもない、託児保険に加入したために発生したものです。また、2月6日に無償で講演をしてくださったり、出演予定だった講師が来られなかったことによる報償費の減額や、使用する施設の規模縮小などをして事業経費が下がっております。

結果、事業経費は19万6,612円減額の14万3,888円、うち対象経費も同額、

支援金額は交付決定額通り6万6,096円となっています。

#### **団体番号18 M's sound factory**

##### **支援対象事業 M's sound factory ポップスコンサートvol.9**

12月13日に北コミュニティセンターISTAはばたきのはばたきホールにて親しみあるポップスや童謡、音楽コンサートの中に寸劇を取り入れたコンサートを行い、400人が来場しています。内容も司会や寸劇出演者と来場者がかけあいを行って一緒に事業を盛り上げるプログラムを取り込んでいます。

支出内容について説明いたします。まず消耗品費ですが、使用する楽曲が多く、購入しなければならない楽譜が増えたことで5万4,331円増額しております。他にもチラシをデザインから依頼した関係で1万7,597円の増額、会場使用料のほかに音響操作の料金が加わったことで使用料が2万1,800円増額しております。

結果、事業経費は9万6,245円増額の33万6,275円、うち対象経費も同額、支援金額は交付決定額通り4万5,391円となっています。

#### **団体番号19 萌フェスタ実行委員会**

##### **支援対象事業 萌フェスタ2015**

9月19日にたけまるホールの大ホールと、ベルテラス生駒のベルステージで行いました。事業内容としては、たけまるホールで、フリーアナウンサー山本浩之氏による講演や精神障がいのある方々による演奏などの活動発表、ベルステージでは主に児童や親子を対象としたパフォーマンスショーを行っています。児童向けイベントのPR効果が高く、多くの方が事業に参加され、事業後は障がい者授産施設に来る方が増えるなど効果があったとの事です。

支出内容について説明いたします。委託料ですが、ベルステージで行った児童用プログラムで使用したうさぎ型のドーム遊具の設置から撤去までを委託したため、新たに費目が追加されています。また、報償費ですが、同じくベルステージでのパントマイム・けん玉パフォーマーへの報償費6万円が追加されております。

結果、事業経費は17万1,300円増額の87万1,300円、うち対象経費は82万2,910円、支援金額は交付決定額通り10万7,917円となっています。

#### **団体番号20 生駒市日本中国友好協会**

##### **支援対象事業 日中文化交流「春節の集い」**

2月6日にたけまるホール小ホールで「春節の集い」を開催いたしました。演武や中国楽器を使った演奏を行って中国の文化を体験するという事業です。

支出内容について説明いたします。原材料費が4万3,149円減額となっております。

これは、日本と中国それぞれの食文化を体験するプログラムで使用する食材を全て原材料費として計上していましたが、食糧費や消耗品費に費目が移っているためです。その分、食糧費、消耗品費がそれぞれ増額されております。

結果、事業経費は1万906円増額の33万906円、うち対象経費は32万7,629円、支援金額は交付決定額通り16万円となっております。

#### **団体番号21 鹿ノ台・いきいき街づくり会**

##### **支援対象事業 アクティブサロン&ライフ活動—高齢地域の世代間交流と助け合い—**

年間15回のサロン活動を15回、森林内を歩くといった屋外イベントを3回、サロン活動の送迎や、身体に障がいを持った方の定期的な送迎サービス利用といった送迎支援活動を22回実施されました。

支出項目について説明いたします。申請当初に予定をしていたタクシー会社への委託については、実施にはいたりませんでしたので委託料が7万3,860円の減額。報償費についても当初送迎サービスをした方に支払う予定でしたが、回数が少なかったことにもない9万6,900円の減額などがありました。

結果、事業経費は22万9,407円減額の13万593円、うち対象経費は10万7,086円、支援金額は11万6,457円低い5万3,543円となっております。

#### **団体番号22 竜田川流域の美しい街まもり隊**

##### **支援対象事業 地域の清掃（ごみ拾い）活動及び除草・花植え活動**

年間にわたって竜田川流域の景観保全事業を実施されております。除草・花植え活動が年間44回、参加者200名、ごみ拾い活動が年間19回、参加者160名となっております。

支出項目について説明いたします。消耗品が2,385円高くなっております。これは、活動地域に毛虫が大量発生したことによる殺虫剤を購入したためです。

結果、事業経費は2,754円増額の6万1,694円、うち対象経費は、5万6,894円、支援金額は交付決定額通り2万7,070円となっております。

#### **団体番号23 特定非営利活動法人プロストリート関西**

##### **支援対象事業 トッププロによるサッカー教室・サッカー大会**

7月28日、29日の2日間、トッププロによるサッカー教室と大会を実施しました。奈良県外からの参加者20名を含む100名が参加しました。1グループ10名弱に分かれての教室と参加者がチームに分かれて交流試合をしております。

支出項目について説明をいたします。消耗品として購入を予定していた試合用ボールについて、提供があったため購入をせず2万2,948円の減額、印刷製本費についても、

配布用チラシの提供があったため、2万円の減額などがありました。結果、事業経費は8万2,291円低い9万4,487円、うち対象経費は、7万6,987円、支援金額は交付決定額より1万2,514円低い3万8,493円となっております。

#### **団体番号24 マムライト奈良生駒**

##### **支援対象事業 いこママまるしえ**

ベルテラス生駒の屋外ステージで4回、コミュニティセンターで5回、その他、悪天候で屋外ステージが使用できなかった時にはららポートで見本市を3回開催しております。それぞれ1回あたり100～200名ほどの来場があり、普段特に出かける予定の無いママ達が家から出てくるきっかけとなっております。

支出項目について説明をいたします。支援金希望額50万円に対して、交付決定額が約43万円少なくなったため、各費目で支出を抑えております。印刷製本費として挙げたものはチラシのデザインと同じところに依頼をし、デザイン料と合わせて委託料として計上したため21万5,845円減額、委託料についてもチラシのデザインや印刷部数を減らしたり、HPの更新回数を減らすなどして支出を削減したことで28万7,520円の減額、使用料については、使用する会場を変更する場合もあって14万110円減額となっております。

結果、事業経費は90万5,676円低い39万1,524円、うち、支援対象経費は38万6,702円、支援金額は交付決定額どおり67,171円となっております。

#### **団体番号25 生駒市学童保育運動連絡協議会**

##### **支援対象事業 生駒市学童保育に通う児童の健全育成を助成する事業**

9月、11月、1月、2月と合計6回の事業を実施し、合計で約1900名の参加がありました。内容としては相撲大会や講演会、百人一首大会や耐寒登山等です。

収支について説明いたします。まず、収入ですが、参加者が当初の想定よりも増えて4万1,000円多くなっております。続いて、支出ですが、使用料が12万円以上増額となっております。これは、耐寒登山参加者が想定よりも多く、移動に必要なバスのチャーターが1台増加したことによります。また、原材料費として申請していたものが、事業実施時に委託したことで費目が委託料へ移項しております。

結果、事業経費は21万7,290円増額の84万690円、うち支援対象経費は72万3,472円、支援金額は交付決定額どおり29万1,700円となっております。

以上16団体の説明を終わらせていただきますので、各団体の内容につきまして、ご審議いただきますようお願いいたします。

【中川会長】       ありがとうございます。

これを一つ一つしていると、とてもかかりそうなので、各委員からご質問、ご意見をいただいて、一括して審議してよろしいでしょうか。それでは、順番に行きましょうか。谷野先生から、お願いします。

【谷野委員】       まず、一番気になったのが、ママライト奈良生駒ですけども、事業収入が30万7,000円ということで、出店協賛費が1万8,000円の4日分、事業者だと思うんですけど。あと、3,000円掛ける51とかは、結局、参加した方からいただいた金額なんですか。

【事務局】       はい。一般の出店者といいますか。

【谷野委員】       来られた方ですか。

【事務局】       実際に事業に来られて、例えば出店された方のものを買われたものについてはここには入っておりません。

【谷野委員】       分かりました。ちょっとその辺が、どういう内訳かと思ったので。あとは、細かいんですが、18番のM's Sound Factory、前にもちょっと出たかと思うんですけども、全然、入場料を取っておられないんですけども、年々すごく充実されてきていますし、ただ、皆さん、やる方の費用の負担が多くなってきているのではないかと思っているんですけど、やはりほかでは事業収入があって自己負担の少ないところもありますし、その辺のところではちょっと気がかりでした。

【中川会長】       よろしいですか。それじゃ、宮西委員、どうぞ。

【宮西委員】       件数もたくさんあって、聞きたいところをちょっと何個か、済みません。

確認なんですけども、5番の特定非営利活動法人子守（こまもり）です。保険をやめられたと、各サッカークラブが入られているので、やめられたとおっしゃったんですけども、主催者として賠償責任等が出てくるおそれもあるのかなと思うので、主催者としての保険は入らなくてもよかったのかなというふうなところがちょっと気になりました。

19番萌フェスタ実行委員会、参加費は取られなかったというのでいいですよ。

【事務局】       はい。参加費は取っておられませんので、この事業の実施の際に作られたパンフレット、添付資料の中にも載せさせていただいているんですけども、そこに各事業者からの提供とかスポンサーになっていただいたことで、その分の協賛金が入っているというものでございます。自主財源ではございません。



【宮西委員】 1 番の健やか交流塾おもちや病院生駒病院なんですけども、これは、修理は原則無料で、部品の実費は取られていると思うんですけども、それはこの決算書とかには入ってこないんですね。全く別にされているということですね。

【事務局】 はい。

【宮西委員】 事業収入とかには入れずに、支出にも入れてないみたいな形で、その辺は、どっちが正しいのかがちょっとよく分からなかったの、確認だけです。あとは、大したことはないんですが、ちょっと気になったのが、特定非営利活動法人プロストリート関西、2 日目はトッププロに来ていただけなかったみたいなんですけども、一応、報償費は予定どおり払われているんですね。

【事務局】 はい。

【宮西委員】 事業収入、予算で1 万円見てて、決算で入ってないんですが、当初は何か予定されていたんですかね。参加は無料となっているので、当初は何か予定されていたのかな。あとは、最後、2 4 番のmamuro 奈良生駒なんですけど、かなり事業規模が縮小されちゃっているんですけど、これは別段、変更届とかは必要ないんですよ。当初1 2 0 万が4 0 万弱にまで落ちているので、きっちりされてそうなので、その辺は問題ないかなとは思いますが、少しだけ気になりました。以上です。

【事務局】 mamuro 奈良生駒については、今回、マイサポの申請が初めてということで、事業の予算の立て方がすごくアバウトになっていたと。実際やってみたら、事業の規模はほとんど変わってはいないことがありまして、そこを工夫して、やってみたら安く上がったというふうに聞いております。

【中川会長】 はい。そのほかはいいですか。

【宮西委員】 はい。

【中川会長】 それでは、森委員、どうぞ。

【森委員】 私、初めてだったもので、質問みたいな感じになるか分かりませんが、奈良県のやっている助成金なんかでは、賃金とか食材費とか、県内旅費とかいうのは単価を決めてやっているんですけども、こちらは特にそういうのはしていないんですかね。

【事務局】 はい。こちらで単価を決めてやっておりますのは燃料費ですが1 キロ当たり1 5 円と決めているだけで、それ以外は全て実費でしております。

【森委員】 そういうことなんですね。

【平井委員】 しかし、賃金は上限はありますよね。

【事務局】 時給換算で750円という制限はあります。

【森委員】 なるほどね。それで、全部、節度ある数字になっているなどは大体見てたんですけどもね。食料費なんかも高くなる傾向がありますもので、うちなんかは一律1日1,000円とかしたもののなんですけどもね。

【事務局】 食糧費も、1,500円という上限があります。

【森委員】 そういのはちゃんとあるんですね。あと、23番で特定非営利活動法人プロストリート関西というんですか、80名のうち県外の方もおられる。

【事務局】 はい。

【森委員】 そういう場合は特に、市民の税金やけども、何か解釈というか、仕分けはできてますか？

【事務局】 はい。基本は生駒市民であって、広く、生駒市民外の方が来ても大丈夫です。

【森委員】 そういうルールがあるんですね。もう1つあるとすれば、地域の課題になっている場合は、その対応をするためにという感じで内容を募り、審査をするんですけど、これは市民がそれをやりたいことと課題と、両方ごっちゃになっているけども、そういうニーズに対して、これは届出を行って、やるという事業なんですね。

【事務局】 はい。

【森委員】 そういものなんですね。そういう意味では、もう1つ言えば、継続性というのは問題はないわけですね。何回やってもいいということなんですね。

【事務局】 はい。例えば事業を実施して新しい課題が生まれたとか、まだそれで、もちろん100%解決できない場合などは問題ありません。ただ、事業を長年されて、その解決の見込みが余りない場合は、こちらから、例えば違う企画の内容などをむしろ用意していただく必要があるというのは団体には説明をさせていただいております。

【中川会長】 平井委員、いかがでしょう。

【平井委員】 先ほど宮西委員からもあったのとほとんど同じなんです。

1番目の部分で、実費でいただいておりますから収入から外しているのかなという思いはあるんですが、できれば、ちょっと明確にするように、今後は事業収入に上げていただいたらどうかとか。

それと、全体的で、賃金が出ているものが五つ、六つあったと思うんですが、スタッ

フの人では全然足りないから賃金というか、人を雇用されたという解釈ですか。

【事務局】 はい。

【平井委員】 ということは、メンバーの構成員以外の人で雇われているということではないということ？

【事務局】 はい。

【平井委員】 それと、あと1点、保険料。全体のことなんですが、保険に入っておられるところと入られてないところがあるので、できるだけ、せっかくボランティアでというか、公益事業でされているのに、何かあったとき、賠償問題とかが出てきて団体が困るということのないように、保険制度の加入、できるだけ勧めていただきたいなという思いです。以上です。

【中川会長】 ありがとうございます。それでは、北浦副会長、どうぞ。

【北浦副会長】 私も、全体的にはこれでいいのかなと思っています。細かい点、特にというわけではないんですが、小さい規模のところは支援金の額に左右されてしまうのかなと。支援金の額が少なかったら事業を小さくせざるを得ないというような、すごくその影響が大きいというのがなかなか大変なのかなというふうに思ったのと、あとは、全体の額的な規模は小さいけれども、すごく事業としては内容の濃いところが結構あって、本当にこの額でやっていけるのかなと。その額をいただくための資料作成だってかなりいろいろ使いますし、なかなか費用対効果的に大変なんじゃないかなというところがちょっと感想です。あとは、事業の内容、反省とか効果とかのところを読んでいますと、規模が大きい割には集客を主な目的にしているものでいいのかみたいところがちょっと出ていたりとか、あと、特定非営利活動法人いこま山の子会の方で、額によって事業の規模が変わってしまうというところ辺がちょっと出てきているのかなと。このあたりが何かうまくサポートできないものなのか、どうなのかなと思いつつ見せていただいていたいました。すみません、とりとめないですが、以上です。

【中川会長】 ほか、これはちょっとまずいということはあるですか。谷野委員、どうぞ。

【谷野委員】 先ほど最初に質問して、ちょっと言葉が足りなかったんですけど、ママライト奈良生駒なんですけど、一番最後のページが、いこままるしえに参加して無料の券がもらえると、何かそういうのって意外と、その事業者さんに紹介して、安くやれるけど、よくそういう券があるので、こういう市民団体に適するのかな、逆に、萌フェスタ

実行委員会みたいに広告というのであればいいんですけど、何かそちらの業者に誘導されちゃうような、そういう勘違いがないかなと思って、協賛金をいただいて、何かこういう誘導につながらないかと思ってその辺をちょっと心配しました。

【事務局】      こちらについては、チラシの裏面のところでして、実際やっておられるのはマイサポ事業とは別の事業となっております。

【中川会長】      ほか、何か今後、留意を伝えるべきとかいうことはありますか。これまでの委員会で出てきたことを、今、思い浮かべながら、新しい委員の方にも伝達しといた方がいいかなと思うことがあります。まず、森委員がおっしゃった、奈良県の協働助成金との違いは、県の場合はもう少し地域課題を明確にテーマを絞って募集するという手続をしていると思うんですけど、この場合は市民が選択するんですよ。

【森委員】      そうですね。

【中川会長】      広く言ったら、市民公益活動ならば何でもよいという間口の広さはあるんですけど、そこから地域コミュニティ活動も対象には入っています。それがこの性格なんですけど、市民投票で、自分の団体の支援金額の上限枠が決まるわけですけど、その投票もします。現在、ちょっと課題として抱えているかなというのは、一番大きいのが盆踊りとかお祭りですね。

【森委員】      地域だけの。

【中川会長】      そうです。これまで緩やかに支援してきたんですけど、それが地域の結束を固めるとか、次のステップに上ってってもらいたいということを出してきているんですけど、祭りが目的になってしまったらまずい。このあたりをどういうふうに展望を開いてもらうかが課題です。例えば生駒市の自治基本条例あるいは参画協働の精神に基づく市民域自治協議会をつくっていくための足がかりにしていくとか、そういうステップを開いてほしい。それから、今日出てきた課題というかな、谷野委員がおっしゃった、企業メセナ、企業の協力、協賛というのは非常に喜ばしいことなんですけど、これと企業の営業活動との線引きというのかな、その辺はちょっとやっぱりこれから考えないとだめな面が出てくるかもしれません。地域公共性ということが大事で、だから、小学校区とか地域単位の公共性は否定したらだめだと思うんですけど、全市公共性なんていったら成り立たないとは思いますが、公益か公害かというのは、これからも引き続き、きちっと厳しく見ていった方がいいと思います。公開されているか。間口が狭められていないか。それと、もう1点、やっぱり料金を取ってもいいんじゃないのというところもあると思うんですね。

やっぱり適正な実費負担というのを求めてしかるべき事業もあろうかということぐらいか  
と思います。いずれにしても、この全て、交付確定予定額、このとおりということで承認  
してよろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

【中川会長】 ご異議がないようですので、承認いたしました。それでは、次に、その  
他に入りますが、何かございますか。

【事務局】 特に事務局からはございませんが、今、お手元にお配りしております2枚  
のチラシの方のお知らせだけさせていただきます。ピンクの方は、ただいま募集しており  
ます平成28年度のマイサポいこまの募集のチラシです。現在のところ、3団体、お申し  
込みがあり、あと、三十数団体の方から問い合わせが来ております。

緑の方のチラシですが、こちらの方は、5月31日に、ららポート主催で考えておりま  
す「イベント企画の秘訣」というタイトルで講座を開きたいと思います。内容について少  
し説明させていただきます。こちらはマイサポいこまの事業でもありましたが、申請時に  
企画そのものをどうやって立てたらいいかわからないということとか、もっと細かい収支  
の合わせ方であったりとか、目的がどうなのか、対象を誰に絞ったらいいのかというところ  
から、まだその企画の根本のところ難しい、そのような意見がららポートに寄せられて  
おります。それを踏まえまして、奈良県で一番大きいグルメイベントをしておられるの  
が、エヌ・アイ・プランニングさんでして、そこがそのイベントを企画しておられますの  
で、その企画の事務局長さんが実際にイベントの秘訣、どこからイベントをつくっていつ  
たらいいのか、対象があつて、どこに問題があつてというのを講座とワークショップと、  
その二本立てで実際に企画をしてもらいましょうというふうなものを用意しております。

また、その後、実際にこの講座に来られた方の中で、引き続き、イベント企画のやり方  
をもっと学びたいというふうに希望されておられる団体さんにつきましては、ららポート  
で、この1年間、定期的にフォローしていきまして、企画についての相談とかにも乗って、  
例えばこれが来年度のマイサポであったりとか、あるいはほかの、マイサポだけではなく  
て、もっと市民活動の発展につながっていったらなという思いで企画させていただいてお  
ります。以上です。

【事務局】 それでは、特に案件がございませんということで、第1回の生駒市市民活  
動団体支援制度審査会を終了したいと思います。どうもありがとうございました。

— 了 —